

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
105210_板倉町	②学校と地域の課題	05 その他	少子化が顕著な一方、地域は高齢化が進行しており、伝統芸能の後継者不足等の課題に繋がっている。学校及び公民館が連携し、児童と地域人材の仲立ちをするなど、課題に取り組む必要がある。	学校と公民館が協働して、各地域の実情に即した内容で、地域人材を活用した教室を児童対象に実施することで、学校(児童)と地域の連携を強化する。	町内全公民館(4館)で地域人材を活用した教室を行い、実施機会の確保に努めた。	地域人材を活用した魅力ある教室を町内公民館で開催することで、児童や地域がつながる機会を確保し、参加者数増加を目指す。	町内4公民館で実施している「公民館にあつまろう」への児童参加者数	800	人	850	914	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。昨年度833人であったが、今年度は4館合計で81人増加した。定員以上の申込みがあった教室について、講師との調整により受け入れ増としたことが要因である。定員を割る教室について検討を重ね、より積極的に地域人材を活用し、地域と児童の繋がる機会を創出した。	https://www.town.itakura.gunma.jp/d000030/d000070/index.html